



▲有田 色絵松波文扇形皿 18世紀
W28.5 H 8.5 φ19 cm
高台:H1.2 φ10.8cm

吉祥文様である青海波文には繁栄や災厄除け、松文には生命力の象徴や長寿、菱文には子孫繁栄や無病息災などの願いが込められています。それらが、末広がりで縁起物として親しまれる扇と合わせる本作は、豪華の中に希望や他者を思いやる心が感じられます。

本作は、江戸時代にヨーロッパへ輸出された磁器を紹介する陶磁器展「示室」にて公開しています。また、陶磁器展「示室」において「迎撃 井上萬一」展～秀麗なる磁器の世界」を2月28日(土)まで開催してこなせか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシック・アイコンなど約140点の常設展示も行っています。

*企画展の会期は、次回展の都合により変更する場合があります。
(十八親和アートギャラリー学芸員 藤松綾子)

扇子を開いた器形が田を引く『色絵松波文扇形皿』は、中央に波を表現した青海波文と複数の松がリズミカルに配されています。その両サイドには、菱格子文に鳳凰や唐花など華やかな絵付けが施され、扇の骨は白磁に金を用いて丁寧に表現されています。

十八親和
アートギャラリー

開館時間：10:00～16:00(入館は15:30まで)

休館日：日・月・祝日、年末年始(12/30～1/4)

※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F

鑑賞無料

TEL 0956-23-4856

西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分

JR佐世保駅から徒歩約20分

